

日本食道学会より

# 『食道癌根治的化学放射線療法後Complete Response (CR)となった症例の予後に関する研究』

## ➤ 研究（調査）の目的と概略

食道癌に対する化学放射線療法（放射線治療に抗癌剤を併用する治療）の治療効果判定において、病巣の消失（完全奏効：CR）が得られた場合でも以後の経過で再発を認めることは稀ではありません。再発病巣を手術などで効果的に治療する上で、有用となりうる検査方法（CT、内視鏡など）、診断、及びその検査時期を調査しています。

## ➤ 研究（調査）の方法

根治的化学放射線療法を行った食道癌の患者さんのうちCRと判定された方において、治療前後の内視鏡・CT/PETなどの所見および病理検査結果、さらに治療後の病状経過を調査します。有効な追加治療が可能であった治療例ではどの時点でどのような所見が得られていたかを調査します。

## ➤ 研究（調査）の参加施設

食道癌登録全国調査に協力しており、根治的化学放射線療法ならびにサルベージ手術を一定数以上施行している施設

## ➤ 調査期間

調査対象期間（2010年1月1日～2014年12月31日） 研究期間（2018年4月1日～2021年3月31日）

## ➤ 調査の対象となる患者さんへ

2010年1月より2014年12月までに食道癌と診断され、根治的化学放射線療法を受けられた患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータについてアンケートを行い解析するものです。アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を保護します。

## ➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力に同意されなくても、患者さんに不利になることは一切ありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません。データの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

## ➤ お問い合わせ先

この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。

研究責任者：瀬戸泰之（東京大学大学院消化管外科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本食道学会 事務局

〒130-0012 東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階

TEL/FAX: 03-6456-1339

E-mail: [office@esophagus.jp](mailto:office@esophagus.jp)